

「志をもって生きる」 ～向上・礼節・思いやり～

2020年4月14日 校長 加藤 英優

～社会の中でよりよく生きていくための「汎用性の高い基礎力」の育成～

多くの人々が懸命に目に見えない敵、新型コロナウイルスと戦っています。各種メディアには、連日コロナ禍という文字が並び、国内外の感染状況を報じています。そんな中で、令和2年度の始業式、入学式を迎えることができたのはこの上ない喜びです。しかし、新学期の開始から一週間がたった今日現在、各務原市立学校は、今なお、長い休業期間のまっただ中です。私たちにできることは、電話や家庭訪問ぐらいでしかありませんが、そのわずかなふれあいの時間で感じる、生徒の素直でのびのびとした声や、明るく前向きに自粛生活を乗り切っている様子に、わたしたちが勇気づけられている毎日です。

4月7日の始業にあたり、2, 3年生に向けて、「ピンチはチャンス」という言葉を紹介しました。本来の学校生活ができない今、生徒の置かれた状況は、授業ができない、友達に会えない、部活もできない、できないことだらけのままにピンチです。しかし、発想を少し変えてみると、自分の力で生活をつくることのできる絶好のチャンスともいえます。時間割に縛られることなく、24時間を自分でコントロールできるのです。夏休みと違い、部活はありません。すべてが自分次第です。自分でよいと思ったことを進んで実行すること、これを「自主・自律」といいます。これは、長い人生を幸せに生きていくためには是非とも身に付けたい力です。ピンチをチャンスに変えるのは自分次第。コロナ禍に負けず、たくましく成長するためのチャンスとすることを期待しています。

義務教育に携わるわたしたち学校が子供たちにしてやれることは、将来どんな道を選択しても、自らの力で生きていくために必要な「汎用性の高い基礎力」をつけてやることだと思います。学校では、以下のような力を身に付けさせることを目標にして、職員一同力を合わせて頑張る所存です。どうかよろしくお願いします。

- ◇ 「多様性に富む集団の中で、他者と協働し、自分らしく生き生き生きる力」
 - ① 目標の達成に向け我慢強く取り組む力（忍耐力、目標への情熱）
 - ② 感情をコントロールし、対人関係を調整する力（自己抑制、自尊心、社交性）
 - ③ 異なる立場や意見を尊重し、仲間と共にやり抜く力（尊敬、思いやり）
- ◇ 「情報を処理する力」
 - ④ 新しい知識や技能を積極的に学ぼうとする生徒
- ◇ 「情報を編集する力」
 - ⑤ 獲得した知識や技能を活用し、考えたり表現したりできる生徒